

昭和

議会だより

第

79

号

平成28年1月25日 12月定例会

＜群馬県昭和村議会＞



中学生議会 届け！私たちの声



Contents

2 年頭あいさつ

3・4 12月定例会で決めたこと

5～7 村の姿勢を問う

12～15 中学生議会

16・17 みんなの声



年頭あいさつ



議長 高橋 昇三

新年明けましておめでとうございます。村民皆様には、平成28年の新春を健やかに御家族お揃いで、お迎えのこととお慶び申し上げます。

早いもので議長就任から1年が経過いたしました。昨年を振り返りますと急速にグローバル化が進む中、世界に不安をあ

たえているＩＳのテロ活動は激しさを増すばかりであり、ロシア機墜落事故やフランスパリでのテロなどの被害が多発し、今後が心配されます。そんな中、安全保障関連法案が成立し、抑

止力を高め国を守り国民の安全を確保するための法律に繋がることを願うものであります。戦後70年、戦争を体験された方も年々少なくなり、不戦の誓いを継続して後世に伝えて行かなければと思うところであります。

また、環太平洋パートナーシップ閣僚会合での交渉が大筋合意され、村の中心的産業である農業にとりまして、TPPの

影響がどのようなものとなるのか不安はぬぐいきれません。こうした厳しい環境を乗り越え、魅力ある村づくりを進めていくため、現在、地域総合戦略を策定中であり、現実を直視し将来に向け夢の持てる戦略案が策定できますよう、議会も提言を行っていきます。

時代を見据えた情報分析に力点を置き、村民皆様の意見を聞く場として議員出前懇談会を開催し、多くの方の参加をいただき貴重なご意見・ご提案をいただきました。

いつの時代も村民の皆様の負担に應えるべく、ニーズを敏感に捉え村当局と改革に取り組み、更なる村の発展のため議員全員が決意を新たにしたいところであります。

村民の皆様方のご期待にこたえるよう、全力を傾注してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

結びに、新しい年が村民の皆様方にとって、繁栄と発展の年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



副議長 加藤 美昭

新年、明けましておめでとうございます。村民の皆様にはお健やかに平成28年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、安全保障関連法案の採決に国民の関心が高まったことや、テロ事件や異常気象等々人々が不安を抱いたこと、また建物の杭打ち工事でデータが流用され安全性が揺らいだことなどから、昨年の世相を表す漢字に「不安」が選ばれました。

本村においては、「みんなでつくる元気な昭和村」を将来像とした第5次総合計画が、少子高齢化と人口減少が同時に進行する社会の中でスタートしました。

こうした中、基幹産業である農業については、野菜価格の高騰や蒔蒔相場の安定などにより、順調に推移しました。しかし、TPP交渉が大筋合意され、今後の影響が懸念されることとあります。

生越地区における関東地方最大級となるメガソーラー施設建設につきましては、地権者各位のご努力により起工式が行われ、糸井地区においては、カット野菜工場が進出し、これからの本村活性化に繋がるものと思っております。

また、本村議会では「開かれた議会」を推進するため議員出前懇談会を村内6会場で開催し、村政や議会に対するご意見をお聞きするとともに、村づくりの課題などについて意見交換をさせていただきました。

今後も、村民皆様に応えられるよう高橋議長を中心に議会改革に努め、身近でわかりやすい議会を目指して、なお一層の努力を尽くす所存です。

結びに、本年も本議会に対し、更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年一年が幸多い年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

12月定例会

12月定例会は、12月7日から15日までの9日間の会期で開催されました。諮問1件、承認1件、議案11件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問では3人の議員が村の姿勢を問いました。

諮問

人権擁護委員の推薦

堤 恵理子氏を推薦



森下中組

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

小野一男氏を再任



南内出

教育委員会委員の任命同意

須藤俊哉氏を再任



大河原

専決処分

平成27年度一般会計補正予算(第4号)

18万5千円を追加し、予算の総額を4億7205万5千円とする。
昭和イーグルス関東大会参加のための派遣補助金。

条例の制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定

役場庁内での個人番号利用について責務を明確にするため条例を制定。

条例の改正

人事行政の運営等の状況の公表に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

勤務評定の公表から、人事評価の実施状況の公表に変更になることなどの改正。

税条例の一部改正

地方税法の一部改正により、徴収猶予制度の見直しや、旧3級品たばこの税率の見直しなどの改正。

農業委員会の選挙による委員定数条例の一部改正

農業委員の選挙による選出から、議会の同意を得て村長が任命する制度に変更。また、定数を20人から27人にするなどの改正。

小口資金融資促進条例の一部改正

中小企業信用保険法の一部が改正されたことにより、村の条例の関係する号のズレを整備する改正。

補正予算

平成27年度一般会計補正予算(第5号)

6332万6千円を追加

総額
41億3538万1千円
グラウンドゴルフ場整備等1819万円、各行政区の防犯灯電気代120万1千円などを増額。

平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

8254万5千円を追加

総額
13億8730万2千円
一般被保険者療養給付費7401万1千円などを増額。

平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

326万7千円を減額

総額
7億178万5千円
介護慰労金事業が一般会計で実施されることとなったため、包括的支援事業などを減額。

平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

188万1千円を追加

総額
8074万7千円
後期高齢者医療広域連合納付金172万5千円などを増額。

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		林祐司	藤井貞充	藤井照明	高橋隆雄	永井一行	横坂末吉	兵藤喜孝	加藤生	藤井富夫	林幸司	加藤美昭	高橋昇三
第6回定例会(平成27年12月7日～15日)													
承認第9号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成27年度一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第57号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第58号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第59号	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第60号	税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第61号	農業委員会の選挙による委員定数条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第62号	小口資金融資促進条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第63号	平成27年度一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第64号	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第65号	平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第66号	平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第67号	教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

議会の動き

10月

- 25日 ●議員出前懇談会(追分住民センター)
- 26日 ●議員出前懇談会(貝野瀬構造改善センター)
- 28日 ●議会全員協議会
- 30日 ●群馬県町村議会議員研修会(吉岡町)

11月

- 3日 ●村内バレーボール大会
●農産物等盗難防止パトロール隊出発式
- 5日～19日 ●農産物等盗難防止パトロール(4日間)
- 6日 ●秋の道路愛護巡視
- 11日 ●第59回町村議会議長全国大会(東京都)
- 15日 ●玉村町産業祭・交流会
- 16日 ●広域圏定例議員協議会
●利根沼田学校組合議会議員協議会
●利根郡定例議長会

- 20日 ●中学生議会
●群馬県町村議会臨時総会(前橋市)
●群馬県知事との懇談会(前橋市)
- 22～23日 ●村文化祭
- 25日 ●広域圏定例会
●利根沼田学校組合議会定例会
●1市2箇村清掃施設組合議会定例会
- 26日 ●議会運営委員会
●議会全員協議会
- 27日 ●群馬県議会広報研修会(前橋市)

12月

- 7日 ●第6回昭和村議会定例会
●本会議(初日)
- 8日 ●議会全員協議会
●議会広報編集特別委員会
- 10日 ●総務民生常任委員会
- 11日 ●文教産建常任委員会
- 15日 ●議会全員協議会
●本会議(最終日)

- 16日 ●議会広報編集特別委員会

- 22日 ●農業振興地域整備促進協議会

- 28日 ●仕事納め

1月

- 4日 ●仕事始め
- 6日 ●群馬県議会新春交流会(前橋市)
- 7日 ●議会広報編集特別委員会
- 9日 ●村消防団出初式
- 10日 ●村成人式
- 11日 ●村賀詞交歓会
- 12日 ●群馬県市町村トップセミナー(前橋市)
●新年懇話会
- 14日 ●議会広報編集特別委員会
- 15日 ●いじめ防止子ども会議
- 23日 ●わたしと家族作文発表会
- 25日 ●議員研修会



加藤 生 議員

第2子以降保育料無料化

村長 前向きに検討

問 新年度の予算編成での農林予算、子育て支援など保育料の無料化に向けての支援、28年度重点施策等を伺う。

答 村長

子育て支援は最も重要な施策と考えています。新年度では第2子目から保育料無料に向け、また子育て支援金は2割から3割に拡充、おむつ等の購入費助成事業は月3千円から4千円に増額することを前向きに検討しています。

地籍調査事業完了までに220年、これで良いのか

問 村全体の実施計画や、総事業費、補助金関係はどのようにとらえているのか。

答 村長

村全体計画面積は40・35km²で平成22年度から始めて5年間で済んでいるのが0・9km²です。総事業費は、現時点で

未来を担う保育園児



道路の請願・陳情等の進捗状況は

問 採択後の未実施路線の延長と面積は、どのくらいの道路維持費があれば可能か。

答 村長

延長や面積などは、請願や陳情の内容が多様なため管理していません。概算工事費についても実施計画段階まで算出していません。今後3カ年計画を作成するに当たり、概算工事費についても考慮したいと思っています。

問 備えつけの道路台帳を有効活用すれば、延長と面積はすぐにわかる。最小の経費で最大の効果を考えていただきたい。

答 村長

ここ3年間、土木費を大きく計上し進めているところです。今後よく勘案しながら進めたいと思っています。

担額は約330万円だが進める考えは。

答 村長

220年かかるのは如何なものかと思っています。補助金のつき具合や人員配置もありますが、進められるように検討したいと思っています。

問

村の全体計画40・35km²、年に2km²やれば20年で済み、村の負

「あぐりーむ昭和」駐車場の 拡張を求める



兵藤 喜孝 議員

村長 できる限り努力をしていきたい



現在の道の駅駐車場

問

昭和村第5次総合計画の具体的な取り組みで(1)観光拠点の整備として、道の駅「あぐりーむ昭和」の収容体験や駐車場の拡張を検討するということだが、連休やイベントのときは駐車場が足りない状況であり、早急な対策が必要と考えるが。

答 村長

特にイベントのときには駐車スペースが足りず、隣のキャノン電子さ

商工会と連携し振興を

問

(2)生活密着型商業の振興、観光商業の振興など商工会と連携し振興に努めるということだが、具体的にはどのような取り組みをいつぐらいから行うのか。

答 村長

本村の商業振興は、村と商工会との連携により成り立っていると考えており、総合計画実施計画

んの駐車場をお借りし、対応している状況であり、お客様にご不便をおかけしています。今後、道の駅の発展に、駐車スペースの確保は重要と考えておりますので、できる限り努力をしていきたいと思っています。

では6次産業化法を用いた新商品の開発や全国展開事業の支援など、事業が進められています。

また、本村で創業しようとする者を支援する創業支援事業計画の策定に商工会とともに取り組んでおり、本年度中にも経済産業省及び総務省の認定が受けられると思います。



林 幸司 議員

子育て新制度の問題点、 保育料無料化は

村長 来年度より、第2子以降の無料化を
実施したい

問

子ども子育て支援新制度で支給認定・給付制度が導入され、事務量増加、短時間保育など問題はなかったのか。

国は、保育園と幼稚園を合併民営化させ幼保連携型認定こども園にすることを推進しているが、幼稚園がない本村ではデメリットも多く、移行させないよう求める。

5月の村長選に向けて、公約である保育料無料化を強く求めている。

答 村長

事務量激増は甚だしく、臨時職員を1名雇用して何とかしのいできました。短時間認定園児は20人、延長保育料は徴収しておりません。

制度複雑化により、多少の混乱はありますが、保育水準の低下につながる問題はありません。

今後も、公立2園、私立1園が足並みをそろえて地域の実情に応じた保育サービスの充実に努め

てまいりたいと思っています。

来年度より、第3子以降と同じ基準で、第2子の保育料無料化を実施する準備をしています。

問

規模拡大やコスト削減も限界、TPPが追い打ちをかけたら壊滅的な打撃を受け、食糧自給率のさらなる低下をまねくことは明らか。

世界的にも人口急増で食糧生産が追いつかず、飢餓人口は8億人とも10億人とも言われている。

国会決議違反、本村にとっても多大な影響があり、今後も妥協せず、国会批准を阻止し交渉から撤退すべきとの立場で対応するよう求める。

答 村長

大筋合意は、厳しい内容であり、経営を直撃す

TPP大筋合意は決定ではない。妥協せず批准阻止・交渉撤退との立場で対応を

財源は、メガソーラーからの収入を充てます。

引き続き第1子の無料化が実現できるような頑張っていきたいと思っています。

可能性が高いと考えています。引き続き、将来にわたり安心して営農が継続できるような対策の確立と実行を要望していきたいと考えています。

今の段階では、断固反対はしにくいですが、できる限り、村のためになるよう行動していきたいと考えています。



第一保育園の運動会

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

2つの請願は全会一致で趣旨採択

12月10日に総務民生常任委員会を開催し、付託された2つの案件について審査を行い、その後、伊勢崎市の社会福祉法人若草会あずま保育園と上毛新聞印刷センターを視察しました。

再生可能エネルギー施設の土地への固定資産税の負担軽減に関する請願では、税務課長より固定資産税の減免についての説明を受け、慎重審議した結果、全会一致で趣旨採択となりました。

「国際平和支援法案・平和安全法制整備法案を撤回するよう」意見書提出を求める請願書では、国際社会の平和と安全を守ることは理解できるなどとの意見が出され、全会

一致で趣旨採択となりました。

あずま保育園を視察

昭和30年から公立として運営されていた保育園が運営費問題などを理由に平成23年4月より社会福祉法人若草会「あずま保育園」として民営化され、定員150名で運営している等、理事長さん、園長先生から説明を受けました。



保育園内の説明を受ける

国の宝である子供たちのために何ができるか再考する研修でした。

上毛新聞印刷センターを見学

上毛新聞印刷センターでは、新鋭の高速オフセット輪転機や新聞用紙搬送ロボット・AGVを見学、新聞印刷への理解を深めました。

た。工場では巨大な輪転機を前に、紙面をきれいに刷り上げる印刷ユニットや、新聞を1部ずつ裁断して折りたたむ折機の役割について説明を受けました。



刷り上がった新聞

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

村道4路線を舗装整備



生越地内



富岡製糸場

12月11日に文教産建常任委員会を開催し、付託された請願箇所について現地調査を実施し、その後、審査を行いました。

生越地区の請願箇所を審査

「生越地内の村道宮後1号線（縦道部分）西原3号線、宮後2号線、宮後4号線の舗装整備を求める請願」では、当該村道が未舗装のため、雨水の流入などにより、道路の損傷が進み、畑に小石が入るなどの弊害が出ている。また、村の水源付近などに土砂が流出するおそれがあることから、全会一致で採択となりました。

「富岡製糸場」を視察

明治維新を迎えた日本では、輸出品の要である生糸の大量生産のため、全国各地に官営工場の建設が進められました。群馬県では古くから養蚕、製糸、織物といった絹に関する営みが盛んであり、水の確保などの立地要件が整っている富岡に建設されました。操業停止後も今日までほとんど旧状を变じることなく保存管理され、創業当初のままに残されていました。現在は、日本の近代工業発祥の地として世界遺産として登録された注目のスポットです。

みなさんからの請願・陳情

自 平成27年8月21日 至 平成27年11月25日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
18	H27. 8.21	再生可能エネルギー施設の土地への固定資産税の負担軽減に関する請願	貝野瀬・生越太陽光発電施設地権者会 会長 林 幸美 バイオエナジー株式会社 代表取締役 澤浦 彰治 昭和村大字貝野瀬 鈴木 成子	林 幸司 永井一行 横坂末吉	総務民生	趣旨採択 (平成27年第5回定例会継続審査)
20	H27. 8.24	「国際平和支援法案・平和安全法制整備法案を撤回するよう」意見書提出を求める請願書	沼田市坊新田町 沼田実行委員会 木村朝次郎 戦争をさせない利根沼田実行委員会 昭和田村大字赤城原 持田宗武 外165名	林 幸司	総務民生	趣旨採択 (平成27年第5回定例会継続審査)
21	H27.11.25	生越地内の村道 宮後1号線（縦道部分）西原3号線 宮後2号線 宮後4号線の舗装整備を求める請願書	生越区長 林 新一	横坂末吉 林 祐司	文教産建	採択



開催日	開催場所	参加者数
10月17日(土)	赤城原区民館	11人
10月19日(月)	入原公民館	6人
10月21日(水)	地域活性化センター	13人
10月23日(金)	J A 南部支店	13人
10月25日(日)	追分住民センター	9人
10月26日(月)	貝野瀬構造改善センター	22人

74人の村民の方が参加、村政全般にさまざまなご意見をいただきました。

全員協議会で直球勝負!!

議会を身近に感じてもらい、村民の意見を村政に反映させることを目的に10月17日から26日にかけて、議員出前懇談会を村内6会場で実施しました。

12月8日・15日に開催した全員協議会では、議員出前懇談会で多くの方々から要望・提案していただいた内容を担当各課と協議しました。主な内容は次のとおりです。

総務課

質問…防災行政無線は、台風の時いきこえるのか？

回答…個別受信機等で対応することも可能です。

企画課

要望…昭和村のホームページの更新が遅れている。イベントや大会の結果等も早急にアップして情報を発信してほしい。

保健福祉課

回答…ホームページのリニューアルを検討していきます。素早い更新ができる体制をつくっていきたいと思います。

要望…子育て支援センターを午前のみでなく、午後まで延長してほしい。仕事を休んでいく上でも助かり、村外からきたお嫁さんの交流の場所になる。

回答…火、木曜日は10時から12時までで午前のみですが、月、水、金曜日は10時から12時、13時から16時まで開所しています。実際の午後の利用者は少ないので、広報等で周知したいと思います。

産業課

質問…夏場の野菜を標高の高いところで耕作したい。農地を新たに確保できるのか。以前、そのような話があったが具体的に動き出しているのか。

要望…新たに農地を造成し取得する場合は、多少、取得費が高くても良い畑がほしい。

回答…農地を確保できるように利根沼田森林管理署などの関係機関に働きかけをしています。自民党T P P 地方キャラバンにおいても、宮腰議員、福田議員、尾身議員に対し、国有林を畑地にしていたきたい旨の要望をしています。

建設課

要望…昭和村商工会入り口付近の道路が危険なので改善してほしい。

回答…カーブミラーを新設し、センターラインが引けないので矢印を引き対応したいと思います。

その他

要望…スズメバチ等の巣の駆除を村でも対応してほしい。

回答…来年度、補助事業を考えています。

教育委員会

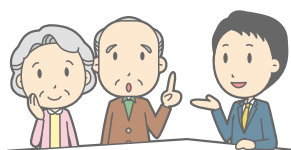
要望…壮年ソフトボール大会と村民運動会の開催時期をずらしてほしい。保育園、小学校、中学校、村民運動会の開催を9月に集中させないでほしい。

回答…年間の予定が決まっています、他のイベントや行事との兼ね合いもあるので、難しいところがあるかもしれませんが。

お疲れの中、懇談会に出席していただきありがとうございます。このほかにも村政全般に様々な要望や、発案をいただきました。

私たちが日常生活をおくる中で身近にある小さな疑問、要望を一つ一つ解決していくことが、住み良い村づくりの一番の近道だと思います。

今後、みなさんとの対話を村政に反映させ、より良い村づくりを実践していきます。



視調話

視察・調査・トピックス

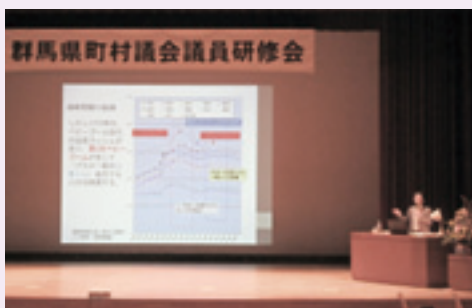
読まれる広報に

11月27日、群馬県市町村会館に於いて議会広報研修会が行われました。編集・出版アドバイザー 芳野政明氏を講師に迎え、「住民に読まれ議会活動が伝わる、議会広報のチェックポイント」と題して勉強会がありました。昭和議会だよりが議会広報クリニックスを受け、読者が読みたくなる見出しにするよう助言を受けました。



群馬県町村議会議員研修

10月30日、群馬県町村議会議員研修会が吉岡町文化センターで行われました。1部は首都大学東京准教授 山下祐介氏による『地方消滅の罠』と「増田レポート」と人口減少社会の正体、2部は法学館・伊藤塾塾長 伊藤真氏による「日本国憲法の理念」と題しての講演を聴きました。



ヤマダイフーズ視察

11月26日、ヤマダイフーズ本社工場（糸井）の視察研修を行いました。工場の稼働は11月29日から始まり、従業員150名以上採用しており、これからの躍進が期待されます。事業内容としては、サラダ用カット野菜の製造をしており、朝採りのシャキッとしたり野菜をその日の食卓に届けております。



中学生議会 1組



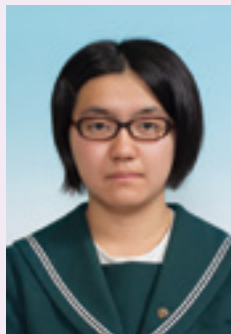
平成27年11月22日に第11回中学生議会が役場議場において開催され、中学生が本番さながらの一般質問や提案を行いました。

篠田 叶多



質問 今後、デジタル機器を使った学習方法を導入する予定はありますか？

長谷川 理子



提案 オープンノートを使った授業を行うのはどうでしょうか。オープンノート用の受信機は、一台でデジタルペン21本分のデータを処理できるため、2台接続すれば、1クラスのデータを同時に扱うことができます。現在オープンノート

は約700校導入済みで、さまざまな活用があり学習効果を得ることができるとしています。

答弁(教育長) 昭和中学校

でも、社会科や数学で、デジタル教科書を活用した授業が行われています。デジタル教材の導入のために、今、国でも、教育内容や教育課程の見直しが行われ、先生方もデジタル教材を使った効果的な授業について調査・研究を進めているところです。

小野 寿笑



質問 村内で少子高齢化が進んでおり農家の平均年齢は65歳以上でした。もっと



小菅 茉那歩



提案 農業をする若手が減っているのですが、農業をする若手を増やす方法

若い人たちに農業を継いでもらうための対策にはどのようなものがありますか？

で、農業体験を実施し楽しさや達成感をあじわってもらうのはいかがでしょうか？「自然の中でのびのび働きたい人」「田舎に移住して暮らしたい人」「農業でお金を得たい人」こういう人は都会に多くいると思うので、PRすれば効果的だと思います。

答弁(村長) 昭和村は、平成27年度新規就農者は30名です。村では今後も、農地整備などを進め、高い生産性の向上を図り、後継者が農業を続けたいと思えるように協力していきたいと思っています。



横坂 柊花

質問 村で生まれた人たちが昭和村で育児がしたいと思えるような、住みやすい村にするための政策は何かありますか。



大島 涼菜

提案 育児のしやすい環境づくりとして、小さい子が遊べるような公園をつくると思います。昭和村にも安全な公園の一つである運動公園があります。人気のあるふわふわドームを運動公園だけでなく、いろいろな公園に作れば人も集まるし、楽しんでもらえると思います。

さらに保育施設を充実させることで、育児のしやすい環境を作ることができると思います。最近話題になっているスーパード育園のような教育を取り入れてみると思います。スーパード育園では、「すべての子どもが天才である」という考え方を前提に、子どもたちが持つ可能性を最大限に引き出すことを目的としている教育法です。

答弁(村長) 本村では、第3子目以降保育料無料化事業のほかに、年間保育料の総額の30%程度を支給する子育て支援金支給事業、そして昨年度からは、乳児等に係る日常生活用品購入費助成事業を実施して、子育て世帯の経済的負担を軽減しています。また、保護者の心身にかかる負担を軽減するため、養育支援訪問事業を実施しています。

「中学生議会を振り返って」



津久井 莉沙

私は議長を務めさせていただきました。ほかの議員さんよりも高い席で本当に緊張しました。間違えたらどうしようかと不安でしたが最後まで一言もかまらず、間違えずに読むことができたので良かったです。そして、人前に立って堂々と話すことは大切なことだと改めて

感じました。

この中学生議会で私は聞く側でしたが、生徒の質問や提案に対しての村長さんの答弁で、お金の問題や将来のためになど、気づかされるが多かったです。そして、私はまだ昭和村に知らないことがあるの

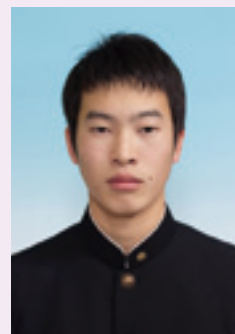
だと思いました。この議会で提案されたものが、いつか将来に活かされてほしいと思います。10年後も20年後もずっと住み続けるような昭和村にするために、みんなでできることから始めていこうと思います。



中学生議会 2組

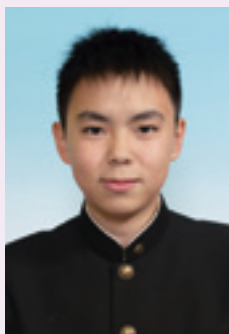


水落 晃太郎
みずおち こうたろう



質問 昭和村はこんなにやくの生産がナンバー1ということを知ってもらうために、どのようなことをしていますか。

石井 柊也
いしい とうや



提案 昭和村はこんなにやくの生産量が日本一です。このことをもつと有名にするために、ギネスに認定を目指し「こんなにやくの重さを世界一」に挑戦するイベントを行ってみたいと思っています。毎年違った形でギネスに挑戦するイベントを行っていたら、面白い取り組みをしている村としてメディアで取り上げられ

「こんなにやく」昭和村のイメージがつくので、世界中の人にこんなにやくがどんな食べ物なのか知ってもらえるかもしれません。夢のある取り組みで、村民も楽しんで参加できると思います。

答弁(村長) 取り組みについては色々あり、一つは、昭和の秋まつりでの、「こんなにやく生産量日本一を誇る」のようなタイトルを付けたチラシの配布やこんにやく鍋の配布によるPRです。

また、「こんなにやく生産量日本一を誇る」というフレーズは、機会がある度に発言をしたり、掲載をしてPRに努めています。

「こんなにやくの重さ世界一」などギネス認定に向けた取り組みをしてはどうかのご提案についてですが、こんにやく生産者はもちろん、村民

にも夢をあたえる取り組みになると思いますので、認定に向けた調査、研究を始めたと思います。

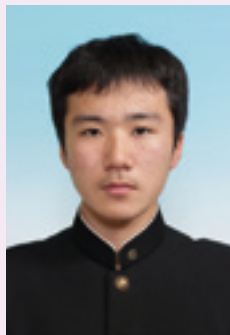
稲垣 綾乃
いながき あやの



質問 農業をするために、昭和村に訪れてきた外国人が住みやすいような村にするために、何か工夫をしていますか。



太田 薫
おおた かおる



提案

海外から働きに来る人は日本語が完璧にわかるわけではないので、母国語の説明があつたほうが理解しやすいし、安心して昭和村に来ることができると思っています。昭和村のHPにも英語、アジア系言語などの翻訳機能を付けてはどうでしょうか。そうすれば、生活しやすい村だと思つてもらえます。

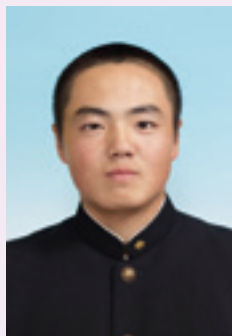
答弁(村長)

中国人の実習生につきましては、平成6年度から平成23年度まで、村は補助金を交付し、農家の実習生を受け入れしやすい体制が作れるよう補助してきました。

村のホームページに翻訳機能をつけるというご提案については、とても良い提案であると思います。昭和村も定住、観光の要素で増

える外国人のニーズに応えるため、ホームページの翻訳化もリニューアルの際に考えていきたいと思っています。

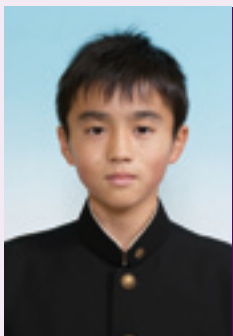
中村 雄真
なかもら ゆうま



質問

東日本大震災、頻発する豪雨災害等、昭和村でもいつ起こるかかわらない自然災害に備え、避難所に指定されている昭和中体育館を、より使いやすい施設にしておく必要があると思うのですが、何か対策を考えていますか。

南沢 豪太
なんざわ こうた



提案

昭和中体育館は災害時の避難場所に指定されています。高齢者から幼児ま

で村民が安心して避難できるように、身障者用トイレや水道、空調設備を整備しておけば、災害時に避難者の不安要素を取り除くことができると思います。

答弁(村長)

昭和中学校は、あくまでも緊急的・一時的避難の場所としての利用を想定しています。避難が長期間に及ぶ場合には、避難所としての安心・安全な環境の実現を考えています。

山田 萌笑
やまだ もえ



「中学生議会を振り返って」

議場は議員さんや村長さんなど偉い人がたくさんいて静かで広くとても堅い雰囲気のところでした。議会に参加して自分の住む地域をより良くするためにはどうしたらいいかと深く考えたり、議会の構成、内容など

今まであまり関わってこなかったことを学びました。

村長や教育長の答弁、色々なグループの提案などから、なるほどと思うことや、これ良いなと思うことがたくさんあり、自分の考えを広げるきっかけになりました。これをきっかけに昭和村のまちづくりに更に関心を持つことができたので、これからの生活に役立てられるようにしていけたらいいと思います。それと議長は初めての経験でとても緊張しました。何回も練習はしましたが、2回ほど間違えてしまいました。本番で失敗してしまったのは残念でした。ですが議長という大変貴重な体験ができて良かったです。



聞きたい、知りたい

みんなの声

1月10日に第58回昭和村成人式が公民館で開催され、真新しいスーツやあでやかな振り袖姿の新成人が大人の第一歩を踏み出しました。今回は、そんな新成人4名の声をお届けします。

「成人を迎えて」

加藤 葵さん



(宿)

振り返れば20年あつという間でした。ここまで成長できたのは、両親をはじめ友人、先生など数えきれないほど多くの方々のおかげです。この自然豊かな地には、私たちの成長を見守っていただきました。20歳になった今、私たちにできることは、今までお世話になった人、また昭和村に恩返しをすることです。私は今大学に通い看護を学んでいます。実習では、現場で働くことの緊張感を感じるとともに、「大人」は自分で考え、判断し、その過程に

伴う責任を負わなければいけないということを知りました。自分にはまだそれができないことにもどかしさを感じる反面、自分もそんな大人になれるのかと少し不安に感じます。ですが、これから人と人との繋がりを大切にしなが自分を確認し、恩返ししていきたいと思ひます。

「新成人となって思うこと」

堤 真心さん



(入原上組)

20歳は「大人」。幼いころはまだまだ先のことのよう思っていました。今、新成人となった自分自身を省みたとき、幼いこ

ろにイメージしていたような大人になれているでしょうか？

高校を卒業後、進学し多くの人と出会い様々な経験をするなかで、私はたくさんの方々に支えてもらっているということを感じました。これまで当たり前のように感じていた一つ一つのことすべてが、当たり前のものではなひことに気づきました。近所の方々が祖父母のように声をかけてくださったり、誉めてくださったりしたことが思ひ出され、昭和村の自然豊かな面だけでなく、地域の方々の温かい人柄に改めて気づきました。

これまで支えてくださつたすべての人に感謝し、より成長していきけるよう努力していききたいと思ひます。そして、いつの日か人を支える側になりたいです。

「二十歳を迎えて」

加藤 亮輔さん



(森下中組)

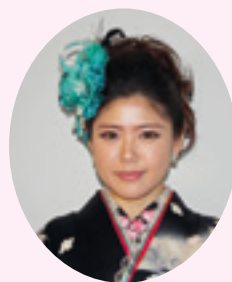
私はとうとう二十歳を迎えることができました。しかし、正直なところ「大人」としての実感はまだわいていません。二十歳を迎えたからといって、突然普段の生活が変わるわけでもないですし、選挙にも行ったことはありません。ただ、自分自身の行動に対する責任を持つという気持ちが強くなった気がします。

私は高校を卒業し、大学に進学しました。大学では今までよりも多くの人と出会い、接する機会が増えました。そこでより一層刺激を受け、今後の自分の進路について真剣に考えさせられました。一人暮らしもさせてもらひ、その大変さも身にしてみて感じています。今までは多くのことを

周りの人に支えてもらいながらやってきましたが、これからは自分が周りの人を支えられるようになりたいと思います。

【感謝】

竹澤 花梨さん



(滝久保)

歯科衛生士の学校に通い、現在実習中、多くの患者さんに接しています。診療後に「ありがとう」の言葉をいただいたときは、例えようなない感情が込み上げてきます。「ありがとう」は感謝を表す言葉ですが、同時に笑顔と、素直さを与えてくれる優しい言葉だと思えます。

素直な気持ちこそが、人を成長させてくれる。私自身、たくさんの「ありがとう」をいただけるよう、日々精進し、私からもたくさんの「ありがとう」を伝えた

い。世の中に、当たり前のことなど、何一つないと思います。そこには、人々の温かい心、そして人力があるからです。成人を迎えた今、私の成長に関わっていただいたすべての方々に感謝しています。

夢を応援してくれる父、世界中で、最も良き理解者である母、感謝の気持ちで一杯です。

「ありがとう」



地域でがんばる人

川額地区自主防災組織

本部長 星野幸一さん



(宮貝戸)

ています。

災害等から事前に警鐘を鳴らし、区民を安全な場所に自主的に避難誘導することを目的とします。今年5月から群馬大学を中心に群馬県砂防課、村総務課と4回の協議を経て、土砂災害

による危険箇所想定や、自主避難を行うための安全箇所を選定し、10月18日に避難訓練を実施しました。

避難時のようす

当日は第3分団によるポンプ車からの警報活動、FM尾瀬からの防災ラジオによる放送等を協力いただきました。その結果、65%の区民の皆様がの協力をいただき、防災に対する理解を得られたこととあります。今後、この組織がその目的に似合うよう、自主防災組織の強化を図っていききたいと思います。

冬の健康レシピ

(昭和村管理栄養士 堤 梨紗)

材料(4人分)

大根…300g、大根の葉…20g、塩昆布…10g、いりごま…小さじ2(10g)、レモン汁…小さじ2

作り方

- ①大根は皮をむき5cmの長さの千切りにする。
大根の葉は色よく茹で、しばって細かく切る。
- ②大根、大根の葉、塩昆布、レモン汁を混ぜ合わせ、しばらく置いて味をなじませる。
- ③器に盛り、いりごまを散らす。

栄養価(1人分)

エネルギー：31kcal、塩分：0.6g



大根と塩昆布の和え物

編集室から

謹賀新年

ほとんどのことが初体験の中、多くの皆様のご指導、助言を受け、2年目に入りました。改めて人・村のためと思う年頭です。

昨年は国際平和支援法案平和安全法制整備法案が成立し、12カ国による環太平洋戦略的経済連携協定が大筋で合意したと発表されました。国内の農業などへの影響が懸念される声が聞かれます。負の影響がないよう国政に強く望むものです。

2016年が良い年になりますよう心より願っています。

永井 一行 記

議会広報編集特別委員会

委員長 藤井 貞充

副委員長 高橋 隆雄

委員

永井 一行 横坂 末吉

林 祐司 藤井 照明

加藤 美昭 高橋 昇三